

気になる現場

夕陽ヶ丘通整備事業

皆さん、写真の位置(上)下、左、右で言葉を入れ換えて、この写真の標識を見たことがありませんか？



気になる標識

標識は約三年前からあり、先は橋の工事で、直進では東陵公園に行けない。この工事の橋は、夕陽ヶ丘通整備事業の一環として既存道路の幅員を約10m拡充し、また横断り確保

た和風庭園「三楽園」から名をとり「三楽園橋」と命名され現在工事中です。三楽園橋は平成五年に着工し東四丁目から橋の手前の側道までは既に完成し橋梁部は橋桁が掛かっている。

今年度は橋の上部の仕上げと仁頃通側の道路工事を進め、十二月末には仁頃通まで開通、平成七年度には青葉通まで整備完了の予定

今、世界はメルボルンの道路事情

河西建設株式会社 丹羽 明美さん

平成五年十一月十八日から二週間、私たち一行九人はオーストラリアに行きました。

初心者が若葉マークをつけてますが、オーストラリアでは「Premature」を経験をつんでいないという意味の赤い「P」のマークをつけず。

仕事風景には見えなかったのが印象的でした。日本と違う部分がおわかりいただけただけでしょうか。

最後に、試合結果は順調に勝ち進み、環太平洋の代表となることが出来たことを報告致します。

たのしみだけなく、道路事情や生活様式の違いを、日本と違う部分がおわかりいただけただけでしょうか。

北見市緑と花の市民会(事務局・市役所都市計画課緑化係)では、庭づくりや花壇づくりに役立ててもらうため、地元専門家を中心に、オホーツク地

また現在の夕陽ヶ丘通の形態として完成したのは昭和四十九年で、学園通り西四号間が最初である。

例えば、西にはシンボルロードとして歩道沿いに水と樹木と緑を配した憩いの場(西六丁目十号間)東には地域住民参加の花壇作りを

また合せて橋の周辺整備も行われ、芝生、植樹、ベンチ、水飲場、あずま屋、夜間照明等により無機質なコンクリートを化粧模様を

北見市緑と花の市民会(事務局・市役所都市計画課緑化係)では、庭づくりや花壇づくりに役立ててもらうため、地元専門家を中心に、オホーツク地

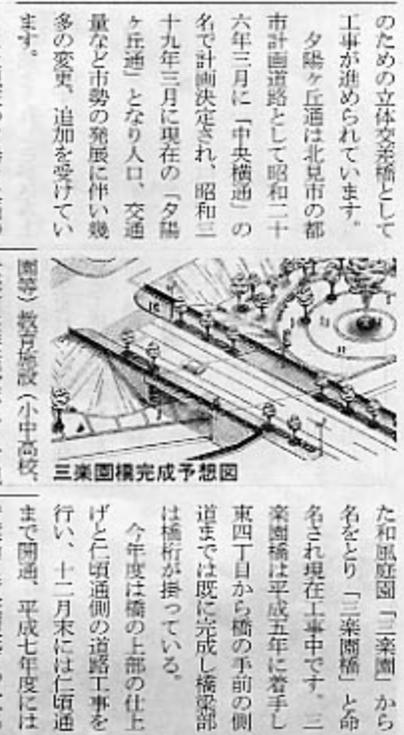
北見モイワスポーツワールドが昨年六月オープン。美園高台地区に大自然を舞台にしたスポーツ・レクリエーション施設がお目見えしました。

また現在の夕陽ヶ丘通の形態として完成したのは昭和四十九年で、学園通り西四号間が最初である。

例えば、西にはシンボルロードとして歩道沿いに水と樹木と緑を配した憩いの場(西六丁目十号間)東には地域住民参加の花壇作りを

また合せて橋の周辺整備も行われ、芝生、植樹、ベンチ、水飲場、あずま屋、夜間照明等により無機質なコンクリートを化粧模様を

北見モイワスポーツワールドが昨年六月オープン。美園高台地区に大自然を舞台にしたスポーツ・レクリエーション施設がお目見えしました。



三楽園橋完成予想図



林 範子

見させていたいただきました。すばらしい図面でした。何事もチャレンジしてみたいという好奇心旺盛な人柄で、実力をためてきたく資格を取得しようという意気込みが伝わってきます。



北欧イメージのモイワスポーツワールド

北見モイワスポーツワールドが昨年六月オープン。美園高台地区に大自然を舞台にしたスポーツ・レクリエーション施設がお目見えしました。

北見モイワスポーツワールドが昨年六月オープン。美園高台地区に大自然を舞台にしたスポーツ・レクリエーション施設がお目見えしました。

Table with 5 columns: Date, Content, Instructor, Location, Organizer. It lists various courses and events for the Green Center Horticulture Classroom.

開催要項：毎月の第3日曜日の午前10時から2時間程度

最新工法

地盤調査システム エルパソル

一、概要

地盤を掘削する際に、掘削機は機械特性、掘削方法、地盤特性に応じて、掘削スピード、トルク、推力、水圧等が変動しています。それらの変動を圧力計、変位計等のセンサーで、三〇・五mごとに断続的に測定したデータをボーリングパラメータといて、昔から石油探査に採用されてきた。

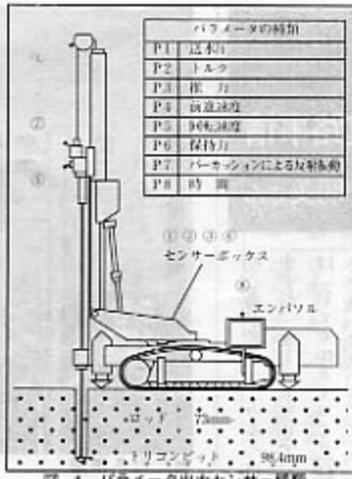


図-1 パラメータ出力センサー機能

二、特徴

そのパラメータの変動により、地盤の性状変化を判定します。これを土質力学特性を必要とする土木分野に採用し、ボーリング掘削中に八個のパラメータの変動を連続的に記録する装置「エンパソル」を開発。ソレタシエ社が開発。掘削機に取り付けられた各種センサーは、掘削深度

①深夜五、単位で掘削パラメータが収集できる。その場で地盤の性状を連続的に把握できる。②作業と同時に測定できるので、短時間に広い範囲の地盤の性状を把握できます。従来の地盤調査の数を減らすことが可能であり、調査密度が向上し、調査価格は安くなります。

掘削作業を行いながら掘削パラメータが収集できるので、その場で地盤の性状を連続的に把握できます。②作業と同時に測定できるので、短時間に広い範囲の地盤の性状を把握できます。従来の地盤調査の数を減らすことが可能であり、調査密度が向上し、調査価格は安くなります。

私と職場

山上建設株式会社 首藤 寿邦さん



山上建設は総務、建設、土木の三部署あり、総務部は経理、労務、事務、建設部はマンション、ビル等の建築工事を主に担当しています。

土木の三部署あり、総務部は経理、労務、事務、建設部はマンション、ビル等の建築工事を主に担当しています。

下水道、河川改修等の工事を行っています。入社して四月で九四年。入社当時は測量をするにしても学生時代の実習経験は全く役に立たず、何から手をつければよいかわからず、先輩達に最初から最後まで教えてもらったことを覚えています。

現在私は手掛けた現場を、終え、本社にて書類整理や各種の講習を受けています。今までも心に残った現場は、やはり昨年施工した上紋峠の防雪工事（スノーシールド）です。

この工事は大規模なコンクリート構造物で道路を覆い、落下や雪崩から車を護る施設を作る工事で、施工中は安全管理、品質管理など

で気を配る暇が全く無い現場でした。現場代理人である先輩の浅野さんの下でいつも叱咤しながら頑張っていたのを覚えています。

今までは現場でうれしかった事の一つは、自分の手で測量をしたものが多く、それがいいのある魅力的な仕事だと思っています。

最後に、近年土木建築業界は、3K、5Kなどと騒がれているようですが、それ以上にこの仕事はやりがいのある魅力的な仕事だと思っています。

昭和四十七年一月十六日生まれ、平成二年三月北見工業高校土木科卒業、同年四月山上建設入社。

大正四年五月山上組として創業、昭和二十三年十一月山上建設株式会社設立、資本金四千八百万円、支店、営業所道内三箇所。

昭和四十七年一月十六日生まれ、平成二年三月北見工業高校土木科卒業、同年四月山上建設入社。

大正四年五月山上組として創業、昭和二十三年十一月山上建設株式会社設立、資本金四千八百万円、支店、営業所道内三箇所。

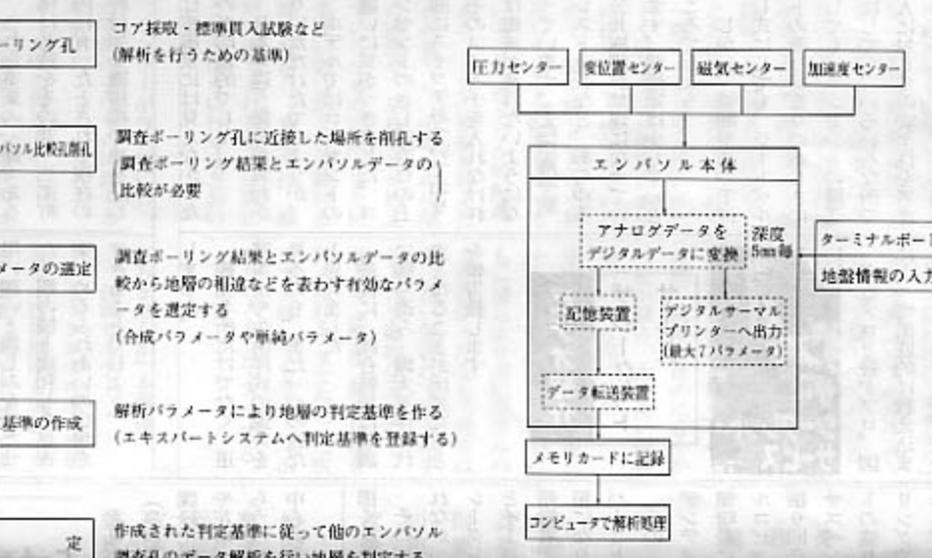


図-3 データ解析の作業の流れ

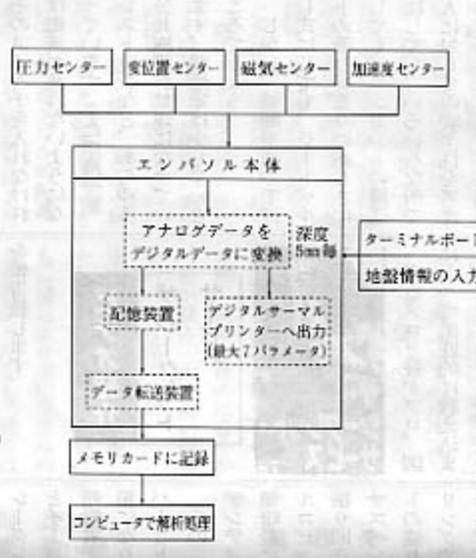


図-2 データ収集システム

技術フラッシュ

宮ヶ瀬ダム

今、神奈川県を流れる相模川に堤体積約二百万立方メートル、高さ百五十六m、総貯水量約一億立方メートルの重力式PCDI法を採用している



土木工事と造園

「スズカケノキ」



アメリカスズカケノキ

テレビコマーシャルでおなじみの「この樹、なんの樹？」気になる樹、かろうが、わかりませんが、剪定や病害虫防除の作業の際、よく質問を受けます。

この樹は、街路樹としてニセアカシアの次に多く植えられているプラタナスです。この樹も意外と実態がよく知られていません。

この樹は西二条線（緑園通り）と南大通り（東一ノ宮）東八号線間に植えられています。和名スズカケノキ。球形の果序がぶらさがり、それが山伏の着る衣

についでいる鈴掛に似ているところから、この和名がつけられました。ニセアカシアと同様に外来種で明治後半に我が国に渡り、世界の国々で街路樹や公園、緑地などに、特に多

く植えられ、モミジバスズカケノキ、スズカケノキ、アメリカスズカケノキの三種が知られています。スズカケノキは最も葉の切れ込みが深く、アメリカスズカケノキは最も浅い。プラタナスはモミジバスズカケノキが大半です。プラタナスの成木の木肌は、車道の遮り色のまだら模様があらわし、他の街路樹の木肌とは違い、一風変わった趣があります。

寒地技術シンポジウム、北見で開催

日時：1994年11月9日～11日 会場：北見市民会館

ただいま論文募集中！ (7月15日まで)

問い合わせ先：工大 (24-1010) 鈴木 (内線349)、大島 (内線373)

- 【協会活動報告】
 - ▼役員会 (二月十四日) 二名参加
 - ▼講習・講演・小委員会 (十二月二十日、一月七日、三月十五日) 異職種交流等の事業計画
 - ▼広報委員会 (八月十日、九月二十日、十月二十八日、十二月十日、二月二日、三月二十二日、四月十二日) 市役所福祉センター他、掲載記事の収集・編集
 - ▼道外研修 (二月七日、二月十一日) 高知市三原市、高橋建設団長以下四十名参加
- ▼市民公開セミナー (三月十日、異部ホテル) 百十名参加
- ▼異職種交流討論会 (四月五日、パレスホテル) 九十名参加
- ▼一級土木施工管理技士受検講習会 (講師派遣三月、職業訓練センター)
- ▼協会ニュースの発行 (二月二十五日/第一号)
- ▼その他、地域共同研究センターの特別講演会の案内等

【クイズの答】
解答① 「父」父親のこと
解答② 「竹」高い値段を聞くとき「ダケ」っていうのでしょ。
解答③ 「フクロウ」ていねいに「オ」をつけるとなるでしょ。
解答④ 「ボタン」服にあるのもボタン。花にもボタンがあります。
解答⑤ 「帽子」危険をボウシするっていうのでしょ。
解答⑥ 「ん」の字、ひらがなで書いてみてください。

編集後記

前号で募集した本紙の愛称が「土木ファミリー」スナップに決まりました。女性編集委員の受けが良かったからです。愛称に負けぬよう全員が家族を中心にホップ・ステップ・ジャンプで成長していきたいものです。

当初、協会ニュースの発行は結構だが果たして載せる記事があるのかね、という心配の声が多かった本紙ですが、おかげさまで相当数の企画や原稿をカットしなければならぬほど話題には事欠きません。今後、研究委員会の活動が軌道に乗れば、一層苦しい選択を迫られそうですが、それはうれしい悲鳴です。

編集は誰かがやっているのと同じく聞かれます。今回は紙面の都合で編集委員会をご紹介できませんでしたが、次号以降で工夫してみます。

四月発行の予定が次々に載せたい記事が増え大幅に予定がずれてしまいました。また二号、されど二号、しっかりした発行体制を確立しなくては、(R・N)